

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供します。

西陣懇いの郷 だより

No.15

2016.2.15

重さ4kg以上にもなる丸形で大型の大根。美しい白い肌と肉質の緻密さが特徴で、苦み、辛味がなく、ほんのりとした甘みがあり、煮込み物にすると絶品。

—表紙の京野菜—

聖護院大根

今年の冬は暖冬でしたが、私にとってはいろいろな意味で春を待ちわびる日々でした。そんな中、冒頭の友人の一言がなぜか何度も記憶の底からあふれ出しました。小さな小さな春の気配を感じ取りたい、そんな努力をしている今日の頃です。

遅い春が近づくにつれて、少しずつですが雪積雪となりました。クルマの屋根に積もった雪を専用の器具で下ろしながら、地元の友人がぽつりとつぶやいたのが冒頭の言葉でした。雪の重さで春の気配を悟っていく、北国に住む人たちの細やかな感性に驚いた記憶があります。厳しい環境に置かれているからこそ、やがて来る春の小さな小さな気配を感じができるのかかもしれません。

重ぐなってきたべな」
若いころ北国の街に住んでいたことがあります。日本のチベットと揶揄されるくらい冬の寒さは厳しいものでした。厳寒の中は、マイナス10℃以下の気温が連日続くこともあります。最高気温も氷点下で、そんな日は真冬日と呼んでいました。それほど長く厳しい冬の街ですが、春は必ずやって来ます。こちら関西のように軽やかではありませんが、一歩一歩時間をかけて春はやって来ます。

ある3月のことでした。3月はまだまだ寒く、その日も午後から雪が降り出し、夕方には雪積雪となりました。クルマの屋根に積もった雪を専用の器具で下ろしながら、地元の友人がぽつりとつぶやいたのが冒頭の言葉でした。雪の重さで春の気配を悟っていく、北国に住む人たちの細やかな感性に驚いた記憶があります。厳しい環境に置かれているからこそ、やがて来る春の小さな小さな気配を感じができるのかかもしれません。

理事長 相馬隆人



「春を待つ」

若いころ北国の街に住んでいたことがあります。日本のチベットと揶揄され

行事のご報告

平成二十七年十月から二十八年一月



行事食のご紹介

栄養課より



昭和 20 年
出征の時の親戚からの寄せ書き

入居者 松尾 弘
【第2回】 戦後 70 年を振り返って

今から 110 年前、日露戦争が終結した。日本は大連から長春までのロシアの鉄道を接收し、満鉄KKを設立、日本全土から社員を募集した。父は応募して大正 3 年渡満、私は大正 14 年大連で生まれ、終戦の年まで正 14 年大連で生まれ、終戦の年まで 20 年間大陸で暮らした。

昭和に入り、国策として日本人は多数満洲へ進出した。侵略と言つた方が適切かもしれない。昭和 6 年に満洲事変が勃発した。当時私は長春の幼稚園に通つていて、銃声の聞こえる近くに住んでおり戦争を体験した。父親は出張で留守、母は 4 人の子を連れて避難の準備で右往左往していたのを覚えている。

事変は終結し昭和 7 年日本は五族を建国した。協和、王道樂土をうたつて満洲国は第 2 次世界大戦の終戦とともに



平成 14 年紺綏褒章受賞
現在の筆者

合掌



厚生大臣からの表彰授与で
上京の際、妻と皇居での一枚

肉迫攻撃の訓練に励んでいた。翌日終戦を聞いた時には一瞬みな放心状になり、話をする者はひとりもいなかつた。

戦後の混乱した世の中も国民は堪え難きを堪え、忍び難きを忍んで復興に努力した。私は歯科大学へ編入卒業して昭和 24 年京都へ来て根を下したが、大陸育ちは京都に馴染むまで苦労の連続で体調を崩し 50 才までは無理と感じていた。たまたま一人の女性に巡り会い、41 才の厄年に神様は福の神を授けてくれたと感謝している。お蔭で健康は回復し、全てが順調に運び 90 才まで生きることができた。家内に深く感謝している。

時代は変わり戦後派の時代になつたが、平和のおかげで今日の日本があるが、今後も横道にそれることなく真つすぐに平和の道を進んでもらいたい。平和、平和、平和を祈念しつつ。

軍隊では新聞もラジオもなく、戦況は全く知らされない。ただ命令されるまま訓練に明け暮れしていた。空襲は日に日に激しさを増し、広島、長崎の原爆、ロシアの参戦のこととかしながらの指示があるまでは予定通りのこと。兵隊は終戦も知らずに本土決戦にそなえ爆雷を抱いて対戦車



勝原ホーム施設内見学

しあわせの村での講義



リーダー研修の報告
介護主任 人見 玲

シリーズ 戦後 70 年を振り返って

【第2回】

入居者 松尾 弘
【第2回】 戦後 70 年を振り返って



平成 27 年 10 月 12 日「体育の日」

◆祭りばら寿司
◆白身魚(ホキ)のムニエル秋色あんかけ
◆松風焼
◆茄子とピーマンささみのゴマ和え
◆茶碗蒸し◆フルーツカクテル

ばら寿司は人気メニューで、大変喜んでおられました。



平成 27 年 9 月 21 日「敬老の日」

◆赤飯◆鰯の幽庵焼
◆茄子のはさみ揚げ
◆里芋の柚子味噌田楽
◆洋梨ワイン煮◆大根のあちらら和え
◆千草卵の吹き寄せあんかけ
◆ほうれん草の菊花和え◆清まし汁

秋らしい彩りの食材を使用し、お弁当箱に詰めてを提供しました。キノコや菊花和えなどで季節を味わっていただきました。



平成 27 年 8 月 16 日「大文字」

◆大文字ご飯
◆海老と野菜の天ぷら
◆包み冬瓜冷やしあんかけ
◆いんげんの和え物◆キウイ
◆清まし汁

5 山の送り火の日、ごはんの上にゆかりを「大」の字にぶりかけました。天ぶらや旬の冬瓜などもお弁当箱に詰めました。



平成 28 年 1 月 2 日「お正月」

◆助六寿司
◆天ぶら(海老、キス、南瓜、椎茸)
◆盛り合わせ
(かまぼこ、かぶら、オクラ、金時人参、さつま芋)
◆菜の花のおひたし◆清まし雑煮

天ぶらや助六寿司など、お祝いの日らしいメニューを味わっていただきました。



平成 28 年 1 月 1 日「元旦」

◆赤飯
◆海老や紅白かまぼこ等の盛り合わせ
◆ぶりの照り焼き
◆ほうれん草の白酢かけ◆みかん
◆粟穀の白みどり雑煮

おせち料理を味わっていただき、「お正月やなあ」と新年を感じていただきました。



平成 27 年 12 月 25 日「クリスマス」

◆チキンライス◆肉巻ロール
◆バジルのパスタ
◆カリフラワーのミモザサラダ
◆クリスマスデザート
◆コンソメスープ

赤色と緑色のクリスマスカラーの献立を提供しました。利用者様にはチキンライスとゼリーがとても人気でした。

～栄養士のご挨拶～

昨年 12 月より管理栄養士兼総務として勤務しております、増井恵美と申します。私は、一日のうちで一番食事が楽しみなので利用者様にも一番の楽しみは食事だと思っていただけるよう日々勉強し、頑張ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。



管理栄養士
増井 恵美
めぐみ



「お正月のおやつ」



1月1日 紅白まんじゅう 1月3日 俵屋吉富の干支饅頭

1月1日は紅白まんじゅう、2月は干支饅頭、3月は俵屋吉富の「おさる」の干支饅頭を提供しました。

今後も旬の食材を使用した献立で行事食やユニットでの調理を充実させ、お食事を楽しんでいただけるようにしていきたいと思います。

「インフルエンザとノロウイルス対策」

看護主任 田中百合子

少しの注意で集団感染を防ぎましょう！

乾燥は大敵！インフルエンザウイルス

1月中旬に寒波がくるまで、この冬は暖冬で年末は過ごしやすかったです。

おかげでインフルエンザの流行も遅れているようです。身体が冷えると抵抗力がおちて風邪をひいたりしやすくなります。

外気温が高いとそこに含まれる水分も多いのですが、気温が低いと空気は乾燥します。気温が外気の乾燥に加えて屋内の空気スが活発になる好条件です。それもますます乾いてしまいます。

これはインフルエンザウイルスが活発になる好条件です。それは当然ですが、こまめに水分を摂つてのどの粘膜を湿潤させることも大事です。

テレビ番組での医師の言葉ですが、インフルエンザウイルスは消化器には影響を与えないのですが、どんどん水分を飲み込むことで、のどに付いたウイルスを洗い流せばよいというのです。面会されるご家族様にも、玄関での手指のアルコール消毒やマスクの着用をしていただいたり、疑わしい場合は来所をご遠慮していただくなどの御協力をお願いします。

でも初期の対応さえ適切に行えばその脅威である大量感染には至らずに済みます。症状自体は下痢・嘔吐・微熱というものですが高齢者や幼児が高いステップに向けて、職場環境の整備に努めてまいります。

介護の現場では初期対応として吐瀉物をしっかり塩素消毒し

ご家庭でも台所用塩素系漂白剤を使用して対応できます。希釈の基準は500mlのペットボトルを使用されると簡便です。軽い下痢で済んでノロの感染と気づかずに入院される一般的の方もおられます。症状が治まっても1週間位は病原菌の排泄が続くので心当たりのある方は来所を控えていただくこともご留意ください。



適切な対応で感染を防止！ノロウイルス



10月30日 認証式の模様

「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証を取得

総務総主任 山本滋生

西陣憩いの郷は、京都府が平成25年度に創設した「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証を10月30日に取得しました。

これは、本施設が、職員に対し高齢化社会を支える福祉の担い手としての将来を見据えた研修制度や人材育成計画を備え、また働きがいと働きやすさが両立した職場であることのお墨付きをいただいたといえましょう。

この認証取得により、福祉職場を探しておられる学生さんなどの本施設に対するイメージアップを図ることができるということはもとより、認証事業所に対する府主催の合同就職説明会

へ優先して参加できるなど人材確保の点でも大きなメリットがあります。

今後は、この認証取得を目指す到達点とはせず、福祉事業を支える人材の育成のためのより高いステップに向けて、職場環境の整備に努めてまいります。

社会福祉法人による利用者負担軽減について

総務担当主任 木村浩介

利用者負担軽減とは、経済的にお困りの方が当施設のような社会福祉法人の運営する施設等を利用される際（※）、介護サービス費の1割の利用者負担や食費・居住費について、その一部を軽減するための制度です。

この軽減を受けるためには、まずご利用先の社会福祉法人が軽減措置を実施していることが前提となります。その上で、市民税非課税世帯の方で、以下の条件をすべて満たす方のうち、申請に基づいて市町村から認定された方が軽減の対象者となります。

- (1)年間収入が単身世帯で150万円、世帯員が1人増えるごとに50万円を加算した額以下であること
- (2)預貯金等の額が単身世帯で350万円、世帯員が1人増えた額以下であること
- (3)日常生活に供する資産以外に活用できる資産がないこと
- (4)負担能力のある親族等に扶養されること
- (5)介護保険料を滞納していないこと

なお、軽減対象者と認定されると、市町村から「軽減確認証」が交付されますので、ご利用先のサービス施設に提出してください。

(※)軽減の対象となるサービスは「介護予防」訪問介護、夜間対応型訪問介護、(介護予防)通所介護、(介護予防)認知症対応型通所介護、(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)小規模多機能型居宅介護、特別養護老人ホーム、地域密着型介護老人福祉施設、入所者生活介護」です。

ご寄贈をいただきました!!

京丹後市久美浜町で農業を営んでいらっしゃる、森本様より平成27年に収穫した新米を60kg寄贈いただきました。丹後の良質の水で丹精込めて栽培されたお米は、特A級に

ランクされているそうです。さつそく入居者の方の毎食のご飯と、一部は管理栄養士がおにぎりにして召し上がっていました。おいしいお米をありがとうございました。

丹後産 新米 特A級60kg



株式会社
紅中様より

車椅子



京都が会社創業の地である縁で株式会社紅中様より、京都市上京社会福祉協議会を通じて、跳ね上げ式車椅子を頂戴しました。



10月2日 寄贈式にて



一部はおにぎりにして召し上がっていただきました



そのほかの
団体様から…

株式会社 朱常商店 様…バナナ 2ケース
京都水産加工協会 様…新巻鮭 1箱 [10kg相当]



いずれも入居者様の食事に提供させていただきました。
毎年のご寄贈をありがとうございます。



バレーボール大会に 参加しました

昨年12月5日、島津アリーナ京都で行われた一般社団法人京都府民間社会福祉施設職員共済会主催の「平成27年度共済会バレーボール大会」に有志の職員が参加しました。残念ながら決勝がトーナメントにはすすめませんでした。和気藹々と球技を楽しみました。

西陣憩いの郷だよりの「西陣憩いの郷だより」15号をお届けいたします。27年度は10周年記念誌を5月に発行したこともあり、不定期になりましたが、今後は6月、10月、2月の年3回、8ページ仕立てで発行する予定をしております。ご意見、ご感想などをいただけましたらありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(担当 西川)

編集後記



◆施設のご案内◆

京都駅方面より…市バス 206・50系統
四条河原町方面より…

市バス 46・59・201系統
「千本今出川」バス停下車徒歩3分

（お問合せはこちらまで）
〒602-8476 京都市上京区桐木町885-1

TEL 075-431-1513
FAX 075-431-1514
E-mail:nishijin-ikoi@kitano-kenjukai.or.jp